

令和3年度第1回 三郷市図書館及び視聴覚ライブラリー協議会に関するご意見について

資料1-1…令和2年度 図書館・企画推進係事業報告

資料1-2…日本一の読書のまち三郷「人生の一冊の絵本と出会おう」イベント報告

資料2-1…令和2年度 図書館事業実績

資料2-2…図書館運営基本方針及び令和3年度重点目標

資料2-3…令和2年度 図書館事業計画（案）

資料3…視聴覚ライブラリーについて

資料4…令和3年度 日本一の読書のまち三郷読書活動事業予定について（案）

資料5…第2次日本一の読書のまち三郷推進計画進捗管理表（令和3年度～令和7年度）

番号	資料	内容
1	資料1-1 資料2-1	コロナ禍の中で、小規模でありながら多様な活動をしてきたと思います。（資料1-2）はその補充だと思われますので、漏れがないようにチェックしておいてください。
	資料2-2	withコロナに11月頃から移行していくものと思われます。（資料4）には、オンライン講演会となっていますが、社会状況に合わせて実施方法を変更できるものがあるのかチェックしてみてください。*印を付けるなど検討しておけば（資料5）の成果も増えていくと思います。
2		<p>(1)2回の臨時休館が求められた中、三郷市図書館で既に電子図書館を導入していたことは、先見の明があったし、先の見えない不安な中で読書の世界が広がっている明るさとなったと思う。特に第1回目は学校の休校とも重なり、学校も行けない、図書館も閉っている、外出できないという閉塞感の中の唯一の救いだったと思う。利用登録なしでもパスワードが発行できるという対応も素早く有用な対応でした。テレビ・スマホに全て依存ということにならずにすんだと思います。</p> <p>※私は図書館は非常に感染リスクが低い施設だと思いますし、1回目の休館後の感染症対策で非常に十分な対策であり、2回目の休館は必要なかったと思います。しかし、人が外に出ないという観点と市の施設ということで仕方なかったとは思いますが。読書まつりをはじめとしたイベントも感染症対策で即中止ということではなく、どうすればリスクを上げずにねらいを達成するために実施できるのかを考え、実施してくれてきたことは、コロナ後（があるかどうかわかりませんが）の活動のさらなる広がりとなると思います。対面だけでなくプラスウェブ上での開催という三郷市民でなくても三郷にいなくても参加できる内容の広がりが期待できます。</p>
		<p>(2)昨年度、私が勤めている施設にブックワゴンが1回来てくれました。また団体貸出は以前から利用していましたが、昨年度より図書館司書の方が100冊選んでいただけるようになりました。ブックワゴン訪問の際は、コロナ禍のため年長の園児のみが出迎え対応をしましたが、年中少（現年長中）の園児もマスコットの黄緑の車のことを話題に出します。また「園長先生が選んだ絵本」より「図書館の方が選んでくれた本」の方が（残念ながら）子供のくいつきがいいです。選ぶ本もジャンルが幅広いことも関係しているのだと思います（私が選んでこなかった本が入っていて、そういう本の人気が高いんですね）。何回もやりとりをするごとに本のレベルの相談も出来、とてもありがたく思っています。重点1①の図書館資料の配送が充実し、本の選定だけでなく配送まで行っていただくとさらにありがたいです。</p>

	資料4	<p>【図書館】1に『幼稚園』の言葉が入っていることがとても嬉しい思いです。</p> <p>【図書館】4の各課連携のブックコラボレーションは非常に楽しみがあります。</p> <p>【企画推進係】の方が中心に進めていく『日本一「本とふれあえるまち」』の指標での取り組みも楽しみです。“ひとつの目安で”ということでしょうか成果が目に見える物差しがあるのは取り組みを考える際も評価する際も非常にわかりやすいはずです。印象のABCより具体的な基準が示されているABCの方が評価として優れています。</p> <p>子ども司書も10年なのですね。子ども司書で育った子が中学生に、中学生司書として育った子が高校生になりR&Lで活動し、さらに大学、社会人として活躍し、また図書館の伝道師（ちょっと大げさですね。今流に言うとインフルエンサー）として身の回りの人に読書の魅力を広めたり、また図書館司書として三郷市に戻ってきて活躍をするなど、想像するだけでとても嬉しくなります。</p>
3	資料2-1 利用統計概要 資料2-2 令和3年度 重点目標より	<p>中央地区の若い家族世帯の人口増により市立図書館児童書の貸出冊数・児童の利用者数が多くなっていることについて以前にも触れ、対応について協議いただいていると思います。まだまだ継続的な需要が見込まれ、市内各図書館規模のバランスを考えても特に児童書の回転が気になっています。</p> <p>現代の子ども達はネット環境にも慣れ、それが当たり前という認識で育っていて、電子図書館などネット上のやりとりに支障はないものと思いますが、やはりまだ幼い子どもたちの目線に立つと、実際に本を手に取り表紙やパラパラとページをめくった感覚で選書する機会が多いと思います。</p> <p>長期休暇などの期間限定でも、集いやすいおどりプラザ（人口増エリア）や各施設のオープンスペースを活用してミニ図書館のようにできないかなと考えてみます。</p> <p>散歩の道すがら立ち寄れたり、コミュニティスペースだったり、ライフサイクルの一部として活用できればいいと思います。そのような活動が、ふれあいブックサポーターであり、「ふれあい文庫」なのでしょうか。</p>
4	資料1-1 資料1-2 資料2-1 資料2-2 資料2-3 資料4 資料5	<p>令和2年度はコロナ禍において、図書館運営に大きな試練が与えられた1年となったと思う。その中で様々な工夫・対策をされていたことがよく分かった。</p> <p>様々な制限がある中でのイベントは、企画する上で多くの苦労があったと思う。この様な時だからこそ、より貴重な体験ができたように感じた。</p> <p>臨時休館があったが、各館のできる範囲での事業を行えたことはスタッフの皆さんの尽力の賜物と思う。</p> <p>「新しい生活様式を踏まえた対策」が大きなカギとなるように思った。</p> <p>「新しい生活様式」の中で昨年度より計画が実行されることを願う。</p> <p>「ふれあいブックサポーター」のキックオフイベントに参加する機会を得、講演を聞くことができた。講師の磯井氏のお話のように、各々が楽しんで気楽に取り組めるものとして盛り上げればよいと感じた。</p> <p>読書密度が増加するには、コロナがネックとなるが、工夫をしながら増えていくことを願う。</p>

5		<p>コロナ禍で図書館の臨時休館が続く中、感染防止のために書籍消毒器の導入などご苦労があったと思います。</p> <p>しかし、令和2年11月から始動したブックワゴンは特に本を運ぶためでなく、あちこちで記念撮影されていますが、図書館のPRと言う事でかいちゃんつぶちゃんのようなマスコットの存在でしかない様に思われます。学校と図書館を本を運ぶ為に使い先生方の御苦労をへらす手だすけに使ってほしいと思います。</p> <p>読書密度という数字で表す事は反対ですが、読書拠点を増やすためにも駅などに返却ポストを作っていただきたいと思います。</p>
6		<p>コロナ禍で行事、図書館運営が制限される中、感染症対策に最大限の取り組みをしていただき、ありがとうございます。私達市民も安心して図書館を利用することができます。様々な工夫をこらしながらの企画・運営、大変感謝しております。</p> <p>ふれあいブックワゴンはとても素敵なデザインで、市内で走行しているところを見かけると、とても嬉しくなります。</p> <p>ふれあい文庫の運営等、今後も読書に触れ合う機会が増えていくことをとても楽しみにしています。</p>
7		<p>すべて同意いたします。作成ありがとうございました。</p>
8		<p>日頃よりお世話になり、ありがとうございます。コロナ禍で学校図書館も平常通り利用できず、授業中に貸出時間を20分ずつ確保したところ、4クラスで600冊以上の貸出があり、生徒たちは待っているのだと感じます。三郷市の図書館等も感染防止対策をとり、工夫しての開館ありがとうございます。12歳以上のワクチン接種が始まるので、生徒たちも行事に参加できるようになるのでしょうか。貸出数や利用者数が平常通りに戻るよう、図書館だよりの本等紹介していきたいです。</p>
9		<p>コロナ禍であっても、市民のみなさまに本を手にとってもらうための工夫がとても素晴らしいです。</p> <p>学校でも授業で使う本などをたくさん貸出していただきました。</p>